

エコアクション21

環境経営レポート



レポート対象期間 2022年6月1日～2023年5月31日

発行日 2023年7月12日



協同建材株式会社

目次

1. 組織の概要…………… 1
2. 環境経営方針…………… 2
3. 実施体制…………… 3
4. 環境経営目標と実績……………4
5. 環境経営計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容……………6
6. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果……………15
7. 代表者による評価と見直し……………16
8. 環境活動取り組み事例……………17

1. 組織の概要

事業所名及び代表者名

協同建材株式会社

代表取締役 山下晴久

所在地

本社 〒432-8051 静岡県浜松市南区若林町2582番地

TEL 053-454-5461

FAX 053-454-6814

分室 静岡県浜松市南区若林町2553番地1

A L C置場 静岡県浜松市南区若林町2583番地2

協同若林ビル 〒435-8051 静岡県浜松市南区若林町2584番地の10

TEL 053-489-7011

FAX 053-489-7022

環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 石橋正啓

事務局担当者 藤井理奈子

連絡先 TEL 053-454-5461

E-mail:info@kyoudou-kenzai.co.jp

事業活動の内容

建材販売及び建築専門工事業 許可番号 静岡県知事許可(般-4)第3723号

「建築工事業、左官工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、

鋼構造物工事業、板金工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、熱絶縁工事業」

事業の規模

活動規模	単位	2020年(75期)	2021年(76期)	2022年(77期)
売上高	百万円	2,128	1,920	2,195
従業員数	人	26	26	25
延べ床面積	m ²	2,450.80	2,450.80	2,653.53

対象範囲(認証・登録範囲)

組織・活動：全組織・全事業活動

協同建材株式会社 環境経営方針

■ 基本理念

協同建材株式会社は、建材販売及び建築専門工事業を通じて、地球環境との調和・共生を目指し、常に環境保全を意識した経営に努め、資源循環型社会の構築に貢献します。

■ 行動指針

当社は基本理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減し環境に配慮した活動に取り組みます。そのために以下を実行することにより、継続的な改善に努めます。

1. 環境に配慮した建材の取扱い拡大に取り組みます
2. 電力使用量、車輛等の燃料使用量を削減し、二酸化炭素排出量の削減に努めます
3. 水使用量の削減に努めます
4. 一般廃棄物及び産業廃棄物の削減とリサイクルの促進に努めます
5. 現場での化学物質排出量削減のために配慮します

環境関連の法律を遵守し、環境経営レポートを社内外に公表するとともに、環境経営方針を全社員に周知し、全社員参画による取り組みを目指します。

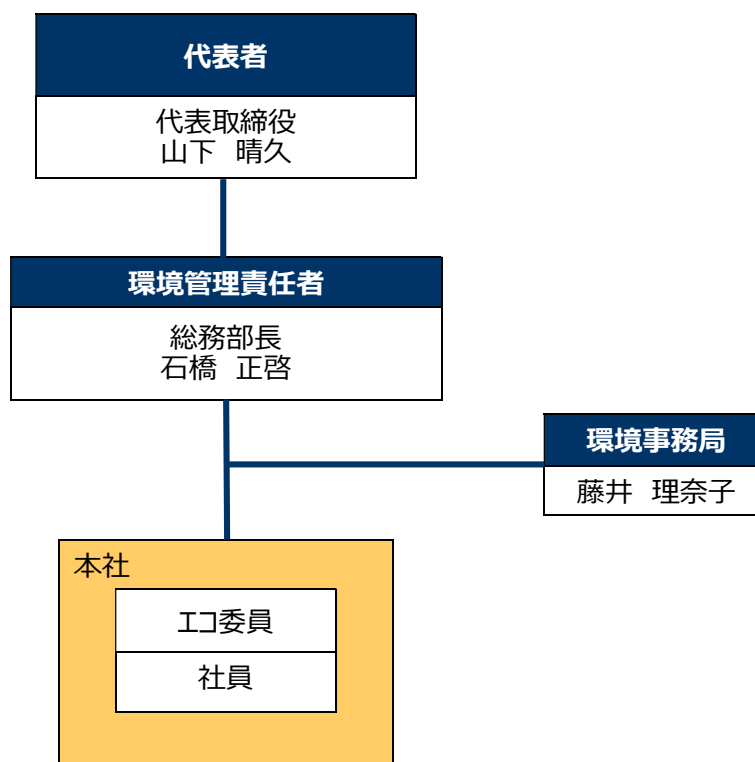
制定：2011年11月1日

改定：2019年6月1日

協同建材株式会社

代表取締役 山下晴久

3. 実施体制



担当	役割・責任・権限
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・代表責任者 ・環境管理責任者の任命 ・環境経営方針の制定、改定及び全社員への周知 ・資源（人材・設備・費用）の用意 ・取組全体の評価と見直し ・環境マネジメントシステムの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境マネジメントシステム全体の実務上の権限 ・代表者への報告 ・環境マネジメントシステムの構築、実施及び運用管理 ・環境経営レポートの承認
環境事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営目標及び環境経営計画案の作成 ・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況チェック ・環境負荷、取組の自己チェックの実施 ・環境経営レポートの作成
EA21 担当者（エコ委員）	<ul style="list-style-type: none"> ・各部門における環境マネジメントの実施 ・各記録の実施 ・問題点のチェック及び予防処置の実施 ・教育訓練の実施
全社員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の確認・理解 ・自主的・積極的な環境活動への取り組み

4. 環境経営目標と実績

本社分のみ

項目		年度	2022年度(77期)		2023年度(78期)		2024年度(79期)	
		2021年度(76期)	目標	実績	目標	実績	目標	実績
環境配慮型建材の使用・販売取扱い拡大	建材使用(枚・袋)	15,649	16,118 基準年+3%	13,741 基準年-12%	16,118 基準年+3%		16,118 基準年+3%	
	建材販売(枚・袋)	4,859	5,005 基準年+3%	5,592 基準年+15%	5,005 基準年+3%		5,005 基準年+3%	
	環境負荷低減設備工事(件)	14件	10件	10件	10件		10件	
二酸化炭素排出量(kg-CO2)		109,791	108,693 基準年-1%	99,091 基準年-10%	108,693 基準年-1%		108,693 基準年-1%	
購入電力(kwh)		37,818	37,440 基準年-1%	35,253 基準年-7%	37,062 基準年-2%		36,683 基準年-3%	
ガソリン使用量(ℓ)		40,939	40,530 基準年-1%	36,859 基準年-10%	40,530 基準年-1%		40,530 基準年-1%	
軽油使用量(ℓ)		135	135 基準年維持	45 基準年-67%	135 基準年維持		135 基準年維持	
水使用量(m ³)		369	365 基準年-1%	339 基準年-8%	365 基準年-1%		365 基準年-1%	
一般廃棄物排出量(t)		4.58	4.35 基準年-5%	4.25 基準年-7%	4.35 基準年-5%		4.35 基準年-5%	
産業廃棄物排出量(t)		229.76	225.16 基準年-2%	111.72 基準年-51%	225.16 基準年-2%		225.16 基準年-2%	
化学物質使用量(kg)		690	適正管理	2,056	適正管理		適正管理	

6月～5月を一年度とする。

購入電力の排出係数は、2020年度の0.379 kg-CO₂/kWhである。

化学物質使用量の数値目標は困難なため、適正管理(適正使用と購入量の把握)とする。

目標及び実績について：丸塚分室を本社に統合し、協同若林ビル内に移転した為、2022年度は実測値の集計を行う。

従って、2022年度の二酸化炭素排出量・購入電力・水使用量の3項目の目標及び実績は本社の数値のみ対象とする。

本社及び協同若林ビル

項目		年度	2022年度(77期)		2023年度(78期)		2024年度(79期)	
		2021年度(76期)	目標	実績	目標	実績	目標	実績
環境配慮型建材の使用・販売取扱い拡大	建材使用(枚・袋)	15,649	16,118 基準年+3%	13,741 基準年-12%	16,118 基準年+3%		16,118 基準年+3%	
	建材販売(枚・袋)	4,859	5,005 基準年+3%	5,592 基準年+15%	5,005 基準年+3%		5,005 基準年+3%	
	環境負荷低減設備工事(件)	14件	10件	10件	10件		10件	
二酸化炭素排出量(kg-CO ₂)		116,706	115,539 基準年-1%	101,687 基準年-13%	115,539 基準年-1%		115,539 基準年-1%	
購入電力(kwh)		44,829	44,381 基準年-1%	42,102 基準年-6%	43,932 基準年-2%		43,484 基準年-3%	
ガソリン使用量(ℓ)		40,939	40,530 基準年-1%	36,859 基準年-10%	40,530 基準年-1%		40,530 基準年-1%	
軽油使用量(ℓ)		135	135 基準年維持	45 基準年-67%	135 基準年維持		135 基準年維持	
水使用量(m ³)		392	388 基準年-1%	359 基準年-8%	388 基準年-1%		388 基準年-1%	
一般廃棄物排出量(t)		4.58	4.35 基準年-5%	4.25 基準年-7%	4.35 基準年-5%		4.35 基準年-5%	
産業廃棄物排出量(t)		229.76	225.16 基準年-2%	111.72 基準年-51%	225.16 基準年-2%		225.16 基準年-2%	
化学物質使用量(kg)		690	適正管理	2,056	適正管理		適正管理	

6月～5月を一年度とする。

購入電力の排出係数は、2020年度の0.379 kg-CO₂/kWhである。

化学物質使用量の数値目標は困難なため、適正管理(適正使用と購入量の把握)とする。

目標及び実績について：基準年度の二酸化炭素排出量・購入電力・水使用量の3項目の数値は2021年度本社実績+2022年度協同若林ビル実績を足した数値とする。

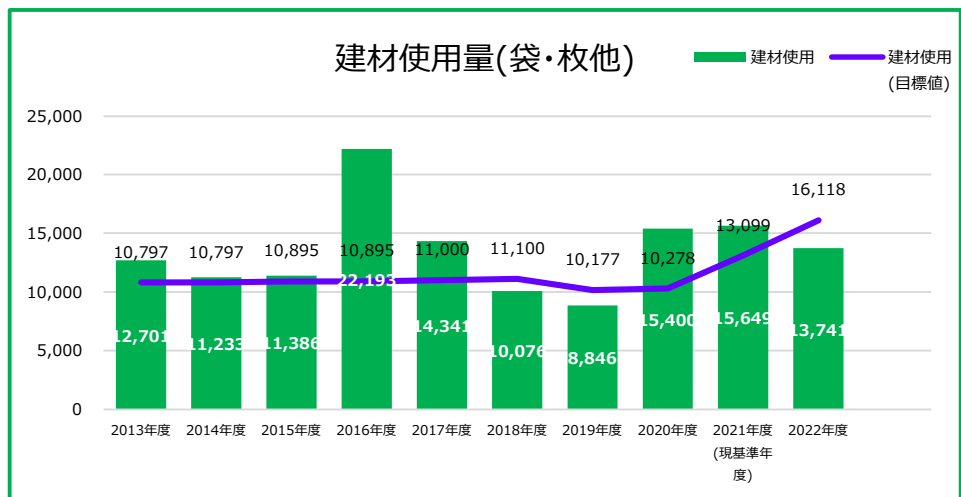
5. 環境経営計画と取組結果・評価、次年度取組内容

環境配慮型建材の使用・販売

活動項目	活動内容	評価
環境配慮型建材の使用推進	環境に配慮した建材(エコマーク認定商品等)を使用する	×
環境配慮型建材の販売推進	環境に配慮した建材(エコマーク認定商品等)を販売する	○
環境負荷低減設備工事の取り扱い	環境負荷低減設備工事(屋上緑化防水工事、耐火遮音間仕切り工事、遮熱塗装工事、遮熱防水工事等)の取り扱いをする	○

担当者：営業部担当者

◆ 工事使用



◆ 取り組み結果の評価

今期は工事量が基準年度に比べて少なく、それに比例して環境配慮型建材の工事使用も減少しています。

◆ 次年度の取り組み

環境配慮型建材のPR や対象建材の見直しを行い、工事使用への推進を強化していきます。

◆ 建材販売

目標値

5,005

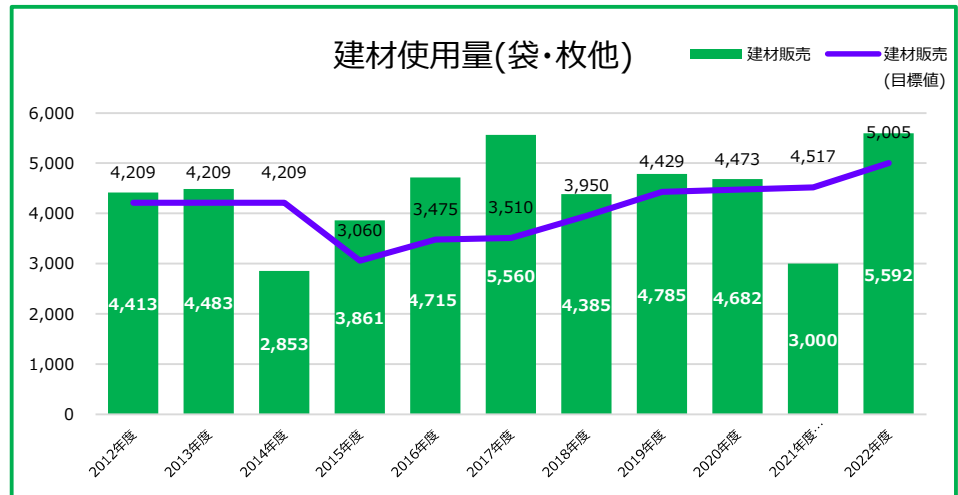


実績値

5,592



達成率 111.7%



◆ 取り組み結果の評価

今年度はエスレベルの算出方法を実態にあうよう変更しました。エスレベル以外の環境配慮型建材の販売量は例年と同程度です。

◆ 次年度の取り組み

引き続き対象建材の見直しを行い、エコ商品を増やして販売量の増加に努めていきます。

◆ 工事件数

目標値

10 件

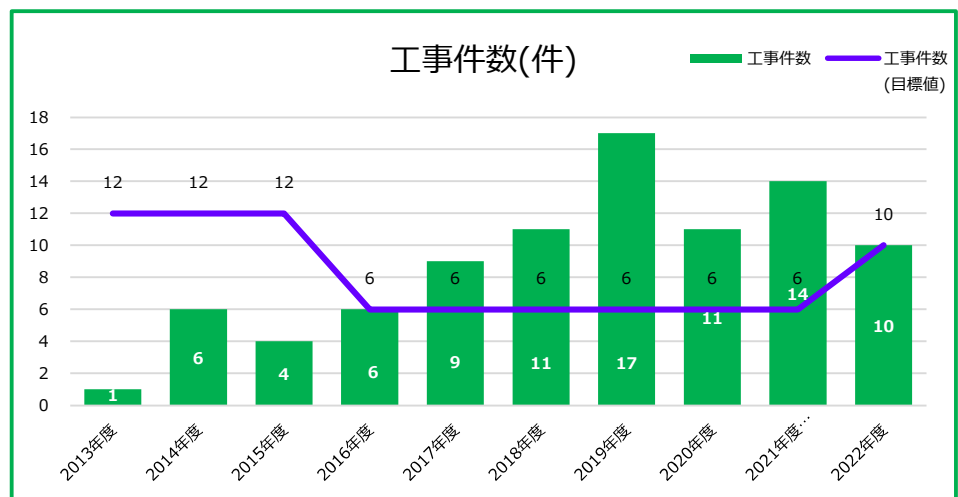


実績値

10 件



達成率 100%



◆ 取り組み結果の評価

耐火遮音間仕切り工事が 8 件、遮熱防水工事が 2 件、全 10 件で目標達成しています。

◆ 次年度の取り組み

引き続き環境負荷低減設備工事の取り扱いを推進していきます。

二酸化炭素排出量の削減

目標値

108,693
kg-Co2

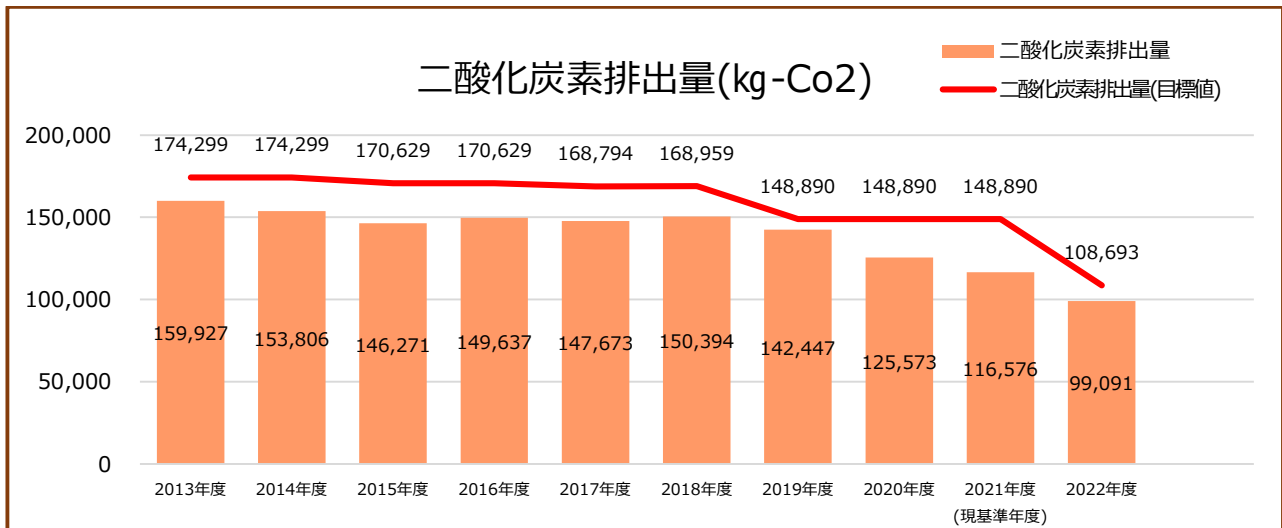


実績値

99,091
kg-Co2

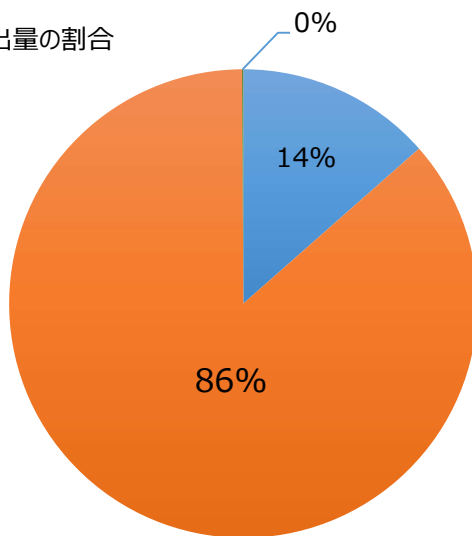


達成率 109.7%



二酸化炭素排出量の割合

- 電力
- ガソリン
- 都市ガス



	二酸化炭素排出量 (kg-Co2)	割合
電力	13,360.89 kg-Co2	13.5%
ガソリン	85,512.60 kg-Co2	86.4%
都市ガス	101.52 kg-Co2	0.1%

◆ 取り組み結果の評価

77期の目標及び実績は本社分のみを対象にしています。

二酸化炭素排出量は 109.7%の達成度で目標達成できています。ガソリンの使用量減少が主な要因ですが、電力使用量も減少していますので、取り組みの成果が表れています。

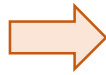
◆ 次年度の取り組み

ガソリンの使用量は工事量に比例するため、77期と同程度の削減ができるかはわかりませんが、エコドライブを心掛け、目標達成を目指します。

電力使用量の削減

目標値

37,440kwh

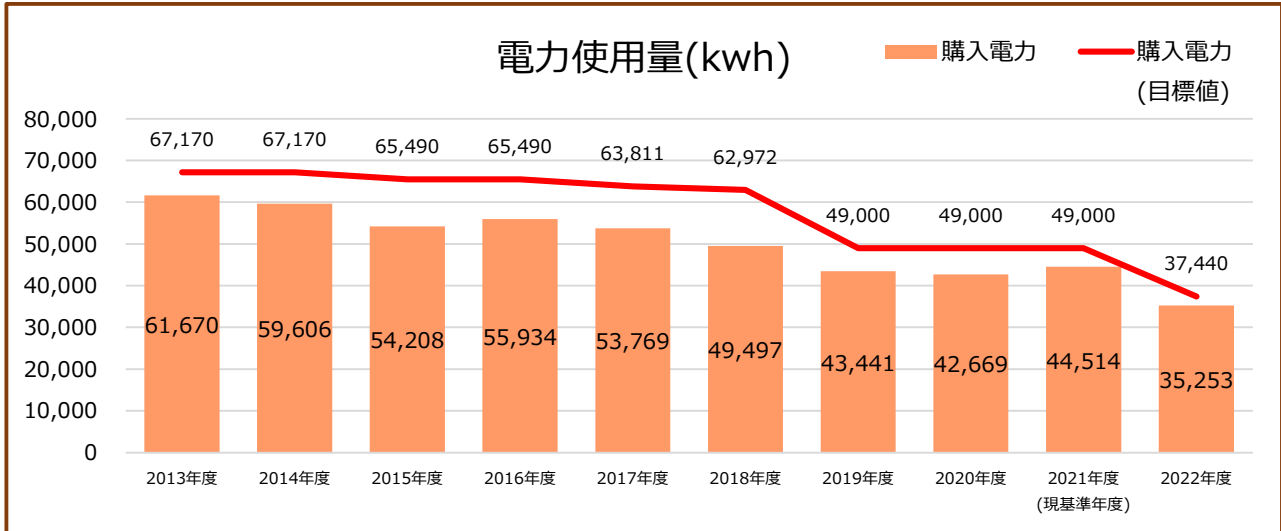


実績値

35,253kwh



達成率 106.2%



活動項目	活動内容	評価
エアコン設定温度のルール化	設定温度 夏季27℃ 冬季22℃ 操作盤にシールを貼って徹底する フィルターを定期的に清掃する	○
不要な照明の消灯	不在時、昼休時、残業時は必要最低限の照明にする 社内掲示を行い、消灯を徹底する	○
PC不使用時の電源OFF	不在時、昼休時等パソコンの電源をOFFにする	○

担当者：藤井理奈子・鈴木智美

◆ 取り組み結果の評価

77期の目標及び実績は本社分のみを対象にしています。
電力使用量はエコアクション取り組みはじめの頃に比べると、大幅に減少しています。
日々の積み重ねが結果にあらわれています。

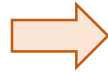
◆ 次年度の取り組み

次年度も目標達成できるよう取り組んでいきます。

使用燃料の削減

目標値

40,665 ℓ

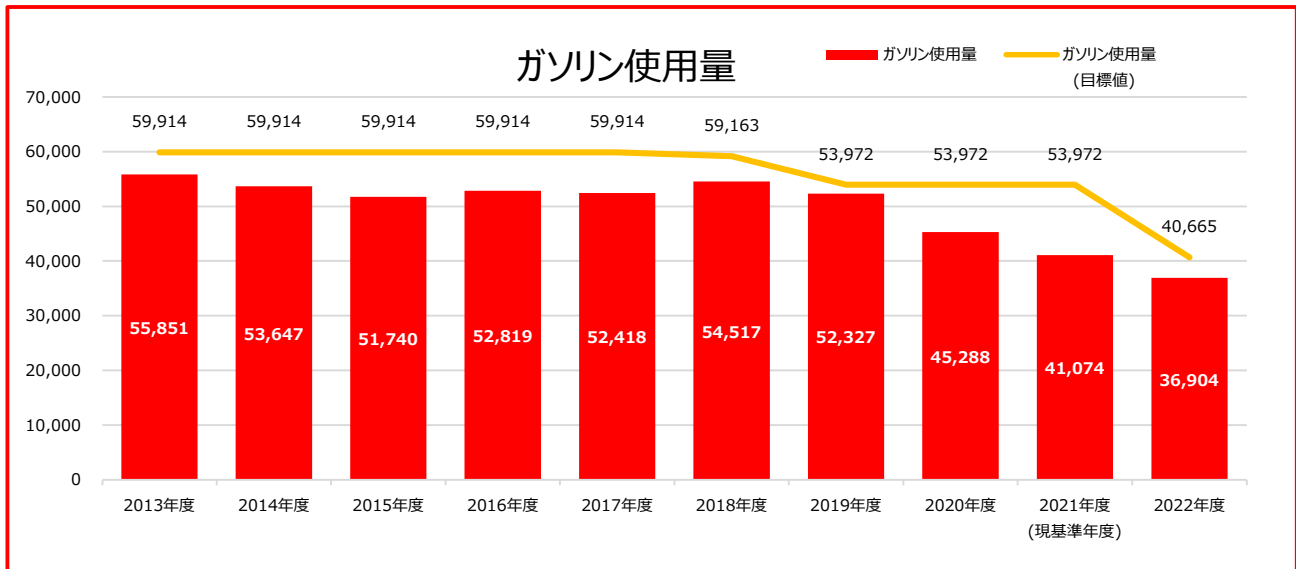


実績

36,904 ℓ



達成率 110.2%



活動項目	活動内容	評価
エコドライブの周知、徹底	不必要なアイドリングの禁止 車内の整理整頓(不要な荷物を降ろす) 急発進・急加速の禁止 効率的な運行計画 エアコンは控えめに 早めのアクセルオフ	○

担当者：家田勝啓・影山豪

◆取組結果の評価

ガソリン使用量が毎年減少傾向にあるのは、所有トラックの台数が減ったことがあげられますが、日々の活動においてエコドライブを各々取り組んでいる成果も表れていると思います。

◆次年度の取り組み

ガソリン等の使用量は工事量等に左右されますが、効率のよい運転を心掛け、エコドライブ活動を推し進めていきます。

水使用量の削減

目標値

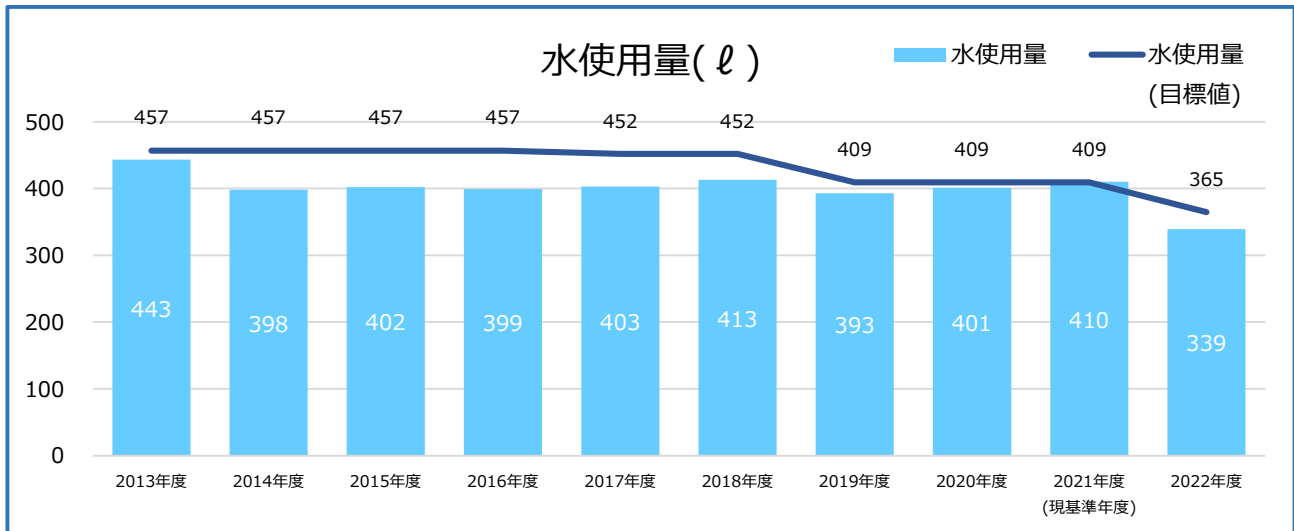
365 ℓ

実績

339 ℓ



達成率 107.7%



活動項目	活動内容	評価
節水の啓蒙	節水シールを貼って意識の向上を図る	○
洗車時の節水	ストッパー付きホースの使用 必要以上に水を出さない	○
漏水調査の実施	定期的にメーターを確認する	○

担当者：山内文恵・鈴木智美

◆取り組み結果の評価

77期の目標及び実績は本社分のみを対象にしています。
今年度は107.7%の達成率で目標達成しています。

◆次年度の取り組み

手洗い・うがい等、衛生面に気を付けながらも節水を心掛け、目標達成できるよう取り組みたいと思います。

一般廃棄物の削減

目標値

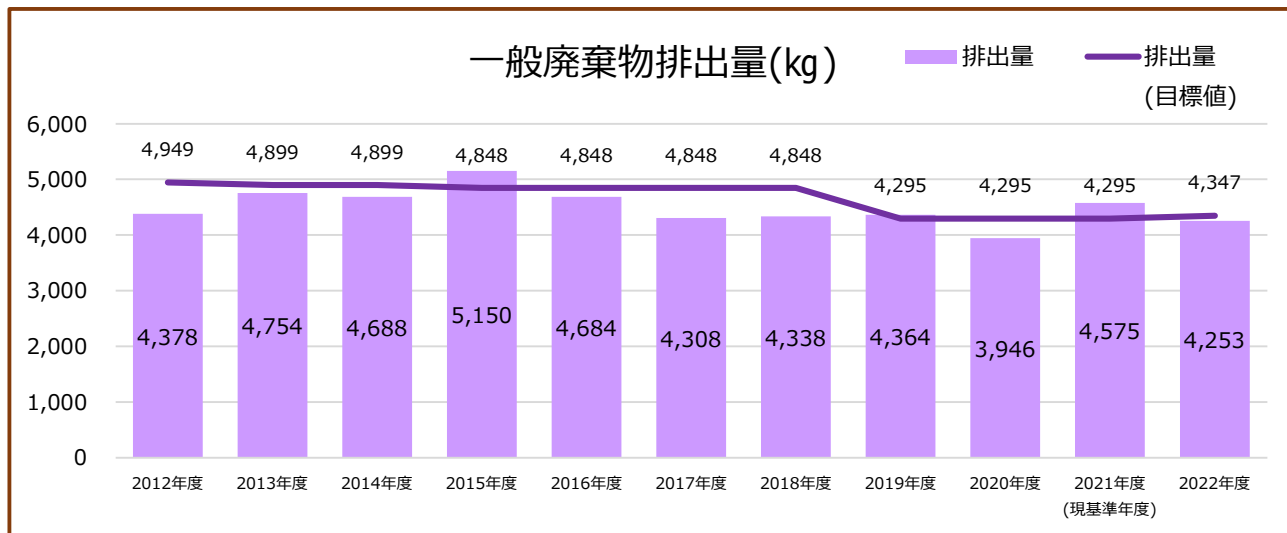
4,347 kg

実績

4,253 kg



達成率 102.2%



活動項目	活動内容	評価
ゴミの分別を徹底、再資源化推進	分別表示を励行する	○
コピー用紙の使用削減	両面コピーや両面印刷の活用 帳票類の集約印刷	○
不要紙類はリサイクルへ回す	ダンボールやコピー用紙等はリサイクル業者へ引き渡す	○

担当者：鳥居弥生・鈴木美之

◆取り組み結果の評価

今年度は目標達成できています。

◆次年度の取り組み

2024年1月から電子データの保存義務化が始まりますので、対応し、より一層のコピー用紙等の使用削減に努めたいと思います。

産業廃棄物の削減

目標値

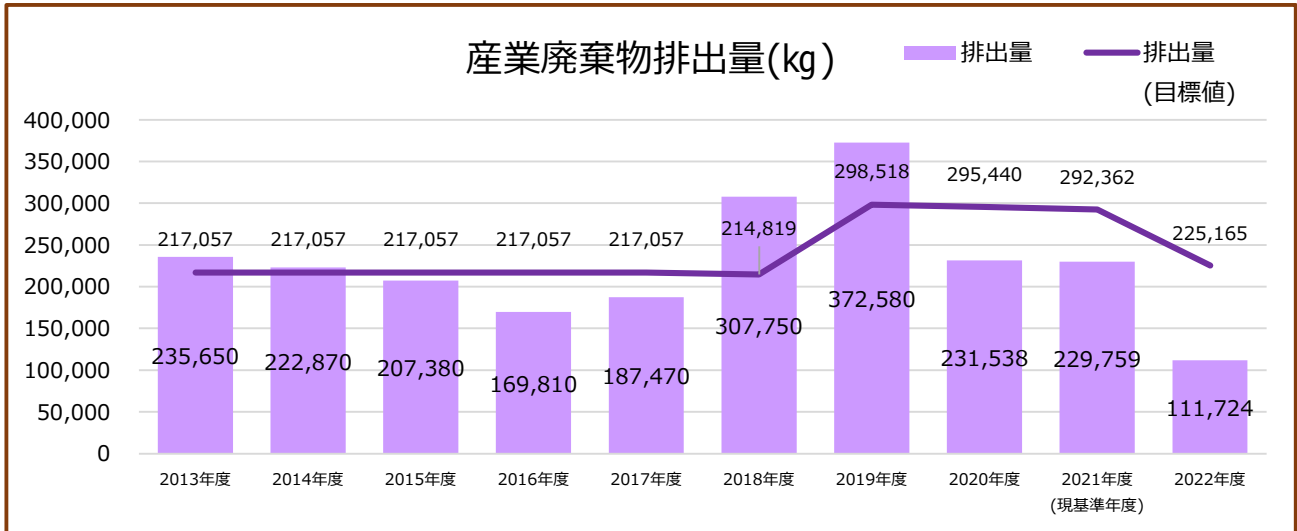
225,165 kg

実績

111,724 kg



達成率 201.5%



活動項目	活動内容	評価
無駄を無くし、廃棄物の排出を抑える	在庫の適正化	○
廃石膏ボードのリサイクル	現場で出た石膏ボードの切れ端等はリサイクルに回す	○

担当者：牧野裕太・鈴木美之

◆取り組み結果の評価

廃棄量は目標達成できており、在庫数も年々減っており、在庫の適正化がすすんでいます。

◆次年度の取り組み

現場での廃棄物の分別等に留意し排出を抑えていきたいと思ひます。また、ISOの取り組みで在庫品の保存状況の管理を行いますので、それに伴い過剰在庫の削減も見込めると思ひます。

化学物質の管理

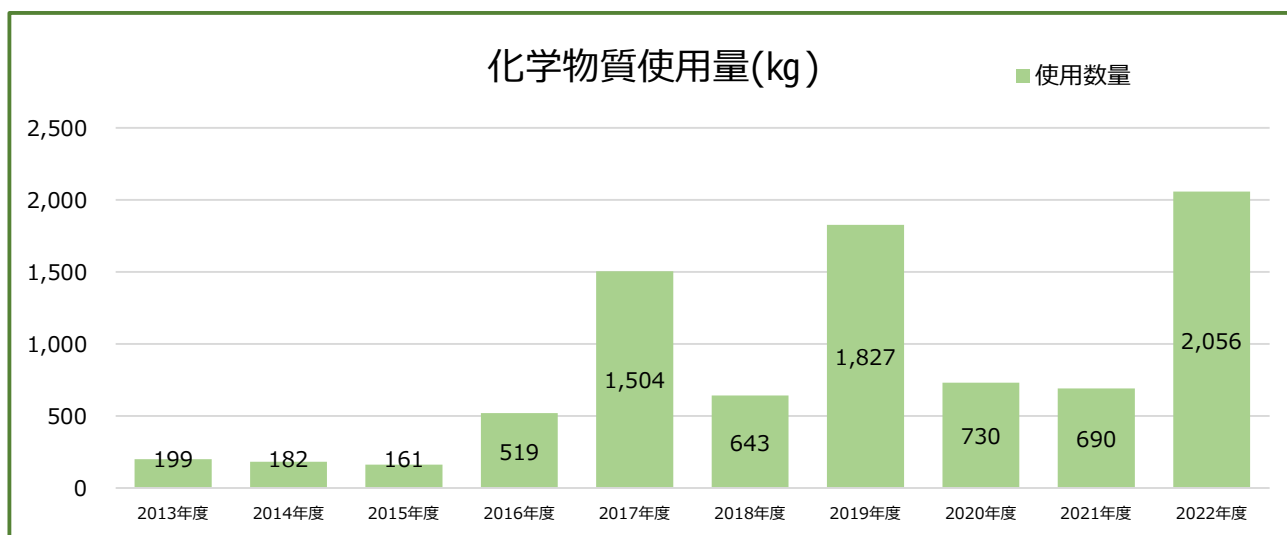
目標値

数量の把握



実績

2,056 kg



活動項目	活動内容	評価
化学物質の使用数量を把握する	化学物質の使用量(購入量)の把握、SDS最新版の管理	○

担当者：和久田勝利

◆取り組み結果の評価

工事の内容によって購入量は左右されますので、使用量の把握のみ行います。

77期は2,056 kgの購入量となりました。

SDSは最新版を保管しています。

◆次年度の取り組み

2023年4月1日より化管法対象物質が変更されていますので、SDSの追加・変更を行います。

また引き続き、適切に購入量の把握・管理をしていきます。

9. 環境関連法規等の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

また関係機関からの指摘、利害関係者からの苦情、訴訟等もありませんでした。

〈チェック日：2023.7.12〉

法規名	対象条項	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
大気汚染防止法	第 18 条	解体工事等に関する調査及び県知事への報告 作業基準の遵守	事前調査、調査の電子報告、周辺の養生、薬液等による湿潤処理	適正
騒音規制法	第 14 条	せん断機・空気圧縮機を使用する作業	特定建設作業の実施の届出(7 日前) 規制基準の遵守	適正
振動規制法	第 14 条	せん断機・空気圧縮機を使用する作業	特定建設作業の実施の届出(7 日前) 規制基準の遵守	適正
化管法	第 14 条	指定化学物質等の性状及び取扱いに関する情報の提供	SDS 等情報の提供	適正
消防法	第 10 条	指定数量以上の危険物の貯蔵及び取扱い	第 4 類第 1 石油類 指定数量 200 ℓ 以上 第 4 類第 2 石油類 指定数量 1,000 ℓ 以上 火災報知設備の設置 事務所 500 m ² 以上 倉庫、工場 1,000 m ² 以上 消防用設備の点検と報告 6ヶ月毎点検、3年毎報告	適正
資源有効利用促進法	第 4 条	再生資源の利用促進	3R の促進	適正
廃棄物処理法	(令)第 6 条の 2	処分業者との委託契約	契約の締結	適正
	第 12 条の 5 第 2 項	電子マニフェストの登録	引渡日より 3 日以内にマニフェスト情報を JWNET に登録	適正
	第 12 条の 5 第 2 項	終了報告の確認	登録日より 90 日以内の中間処理又は 180 日以内の最終処分の確認	適正
プラスチック資源循環法	第 4 条の 1	廃棄物の分別排出	廃プラスチック類を分別し排出する	適正
家電リサイクル法	第 6 条	指定家電の適正処分	テレビ・冷蔵庫・エアコン・洗濯機の適正処分	適正
建設リサイクル法	第 18 条	解体工事 - 80 m ² 以上 新築・増築工事 - 500 m ² 以上 修繕・模様替等工事 - 請負金額 1 億円以上	発注者の知事への届出資料の準備と報告	該当なし
自動車リサイクル法	第 8 条	自動車のリサイクル	引取業者への引渡し	適正
温対法	第 5 条	温室効果ガス抑制措置	自治体施策への協力	適正
省エネ法	第 143 条	エネルギー使用の合理化	事業者の努力義務	適正
フロン排出抑制法	第 16 条 第 1 項	フロン類の漏えいの防止	全ての業務用冷凍空調機器の四半期に 一回の点検	適正
オゾン層保護法	第 19 条	特定物質等の排出の抑制 及び使用の合理化	家電リサイクル法、自動車リサイクル法、 フロン排出抑制法等に準ずる	適正

10. 代表者による評価と見直し

見直し 関連情報	項目		確認：（必要に応じて評価・コメント記載）
	1	エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/> 文書として記録
	2	環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/> 一部目標未達項目あり
	3	環境経営計画及び取組実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 継続して取組み
	4	環境関連法規要求一覧及び順守状況	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
	5	外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
	6	問題点の是正・予防処置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/> 問題なし
	7	取引先、業界、関係行政機関、その他の外部動向	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし
	8	その他	<input checked="" type="checkbox"/> 特になし

全体評価・見直し指示	<p>エコアクション21の認証・登録を受け10年が経過し、継続した成果が上がっています。</p> <p>今年度は、環境配慮型建材の工事使用量が目標未達に終わりましたが、その他のすべての項目において設定した目標を達成することができました。自動車燃料使用量、産業廃棄物の排出量等は工事量の増減や現場までの距離により変動するため、単純に取り組みの成果を判断することはできませんが、エコドライブの実践、廃棄物の分別等、地道な取り組みが成果となって表れているものと思われます。</p> <p>また、事務所南側植樹による緑化で近隣の環境的配慮も進めています。</p> <p>今後も引き続き日々継続した改善を図り、環境活動を経営に活かすよう取り組んで参ります。</p> <p>2023年7月12日</p> <p style="text-align: right;">協同建材株式会社 代表取締役 山下晴久</p>			
		見直し項目	変更の必要性	「有」の場合の指示事項等
	1	環境経営方針	有(無)	
	2	環境経営目標	(有)・無	・環境配慮型建材の見直しを行い、工事使用量の増加を図ること。 ・中期の目標を協同若林ビルの過去1年間の実績を加味したものに改定すること。
	3	環境経営計画	(有)・無	・環境関連法規の最新版を確認すること。
	4	環境に関する組織	有(無)	
	5	その他のシステム要素	有(無)	
	6	その他（外部への対応）	有(無)	

1 1. 環境活動取り組み事例

低炭素社会の実現①

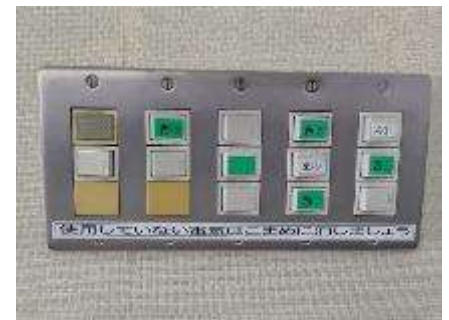
●エアコン設定温度

COOL BIZ (5月~9月)	27℃(±2℃)
WARM BIZ (12月~3月)	22℃(±2℃)



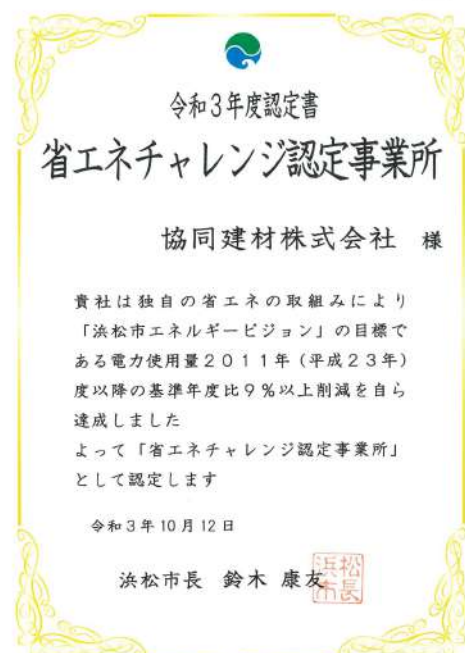
●事務所・倉庫の節電

消し忘れ防止シール
全スイッチにシールを貼付しています



●省エネチャレンジの認定

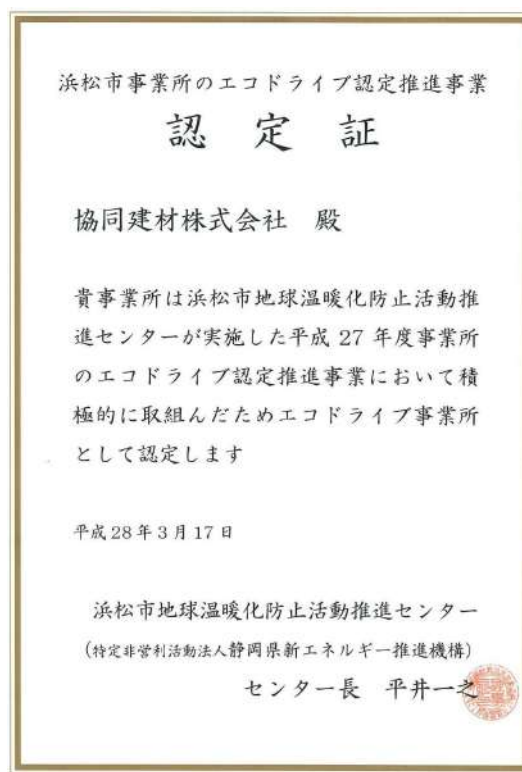
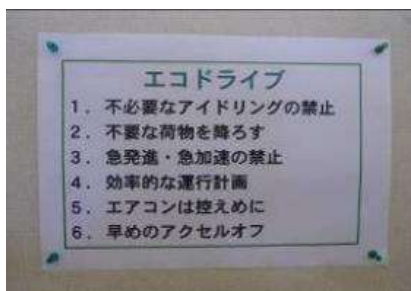
2020 年度電力使用実績を 2013 年度比で 9%以上削減できたことにより、浜松市より令和 3 年度省エネチャレンジ事業所として認定されました。



低炭素社会の実現②

●エコドライブの取り組み

2016年にエコドライブ事業所として認定を受けました。



●節水

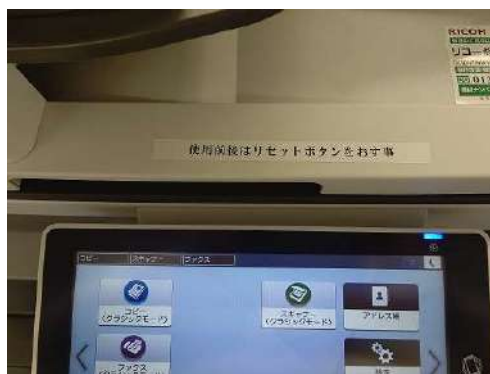
シールによる意識付け



●コピー用紙の節約

ミスプリントを防ぐようコピー機にはシールを貼付しています。

また、会議ではプロジェクター使用により資料の配布を廃止しました。



低炭素社会の実現③

●環境配慮型建材の紹介

エコマークの認定を受けている建材やグリーン購入法適合品等、環境に配慮・貢献する建材をお客様に提案し工事に使用・販売しています。

主な取扱い品及びメーカー

建材販売	エスレベル	日鉄高炉セメント(株)	
	ニュー S K プラスター けいそうリフォーム リンクストーンG 砂王	四国化成工業(株)	
	ティエスサンド	積水化成成品工業(株)	
	スーパータイト	藤本産業(株)	
	発泡面木 T-30	(株)アークエース	
	外壁工事	窯業系サイディング AT-WALL	旭トステム外装(株)
		エンボスカラーリップルシリーズ	NBL(株)(吉野石膏グループ)
ミヒロボード(木毛板)		(有)ミヒロ	
センチュリー耐火野地板		ニチハ(株)	
ネオマフォーム		旭化成建材(株)	
内装工事	ソーラトン	日本ソーラトン(株)	
	エコラックス	ニチアス(株)	
	Pタイル パーマリューム タピスプレーヌII 等	田島ルーフィング(株)	
	フロアリユーム ロイヤル GA-100EM 等	東リ(株)	
	サンゲツカーテン NT-3000eco 等	(株)サンゲツ	
	ロンチップタイル 等	ロンシール工業(株)	
	ダイロートン	大建工業(株)	
	地球樹Mクロス	丸玉産業(株)	

資源循環の促進

●ごみの分別

事務所内で出たゴミは8種類に分別しています。

コピー用紙やカタログ等の紙類は専門業者に持ち込みをしリサイクルすることで、機密文書をシュレッダーにかける事がなくなり、電気代の節約につながっています。



●金属のリサイクル・廃石膏ボードのリサイクル

現場で出た金属・廃石膏ボードはリサイクルする為まとめています。



環境コミュニケーション・訓練

● エコ委員会議の実施

月 1 回エコ委員による会議を行い、情報交換をしています。



● ホームページによる環境情報の掲載

エコの取り組みを多くの方へ知っていただくため、ホームページにて環境経営レポートを掲載しています。



こちらから→



● 訓練の実施

毎年 5 月の最終営業日に消防訓練を行っています。



(消火用ホースを使用した消火訓練の様子)



(化学物質流出を想定した訓練)

社会貢献活動①

●近隣清掃の実施

年 2 回、社員全員による近隣の清掃活動を行っています。

今年度は 2022 年 10 月 11 日、2023 年 5 月 10 日に本社近隣道路の清掃を行いました。



社会貢献活動②

● 使用済み切手

公益社団法人「小さな親切」運動本部のベルマーク・使用済み切手書き損じハガキ収集活動に参加しています。



● インターンシップの受入

中学生と高校生を対象にインターンシップの受入を行っています。
実際の現場を見学したり、お客様への販売材料の納品の手伝いや左官技術のレクチャーを受けたりと、いろいろな専門工事を取り扱う協同建材ならではの職場体験をしていただいています。

